

館長室へようこそ⑭ 野菜たちの命と私の命

図書館長 古川 聡

最近知ったことだが、我が家は「古川農園」と図書館職員から呼ばれているようだ。庭で作った野菜などを図書館に持ってきて、職員のみなさんに食べてもらっているからである。これまでフキノトウ、蒨、紫イモ、雪化粧南瓜、素麺南瓜、モロッコインゲン、冬瓜などを作った。無理やり持たされても、さぞかし迷惑だったに違いない。

毎年春になると庭の土を掘り起こし、肥料を入れ、ホームセンターで購入した苗を植える。生ごみはほとんど土に埋めてしまうので、時々そこから芽が出て、植えた覚えのない作物も収穫することがある。植物の生命力には驚かされる。だが、作物の間に生えてくる雑草たちはさらにパワフルで、毎週末は雑草取りに明け暮れる。雑草という名の植物は本来ないが、雑草と決めつけられて抜かれてしまい、生きる権利も奪われてしまう。その一方で、食べられるというだけで丁寧に扱われ、成長を温かく見守られる野菜たちがある。雑草たちからすると何と不合理なことだろう。

今年も、安納芋、つるありインゲン、トウモロコシ、ミニカボチャ・プチーニ、すずなりかぼちゃんなどを植えてみた。インゲンはゆでても焼いてもいい。安納芋はスイートポテトにしたらおいしいだろう。プチーニとすずなりかぼちゃん、名前に引かれて買ってしまった。果たして、どのような実ができるのだろうか。収穫が楽しみだ。

私たちは様々な生命を奪って生きている。お米の命、ホウレンソウの命、ニワトリになることもできたタマゴの命、ブタの命、サンマの命。今日もたくさん命を奪っておいしい食事を摂っている。食物連鎖とひとことで言っただけになってしまうのではなく、さまざまな作物を作りながら自らの命について考える。大切に育て、無駄なく食べて感謝をし、それを活力に変えて、また今日も元気ががんばろう。

図書館のら・ご・き

○来年度(2015年度)から図書館の耐震工事が始まります!

この夏、本部棟に工事のフェンスが設置され、耐震工事が行われています。

本学では、附属小・中・高校も含め、法人各施設の耐震工事を継続的に実施しています。大学については、2008年度:体育館、2009年度:2号館、2012年度:3号館、そして昨年度(2013年度)は5号館の工事が完了しました。3号館、5号館は、工事の後、建物の中も見違えるほどきれいに生まれ変わりました。

来年はいよいよ4号館の耐震工事が始まる予定です。4号館は1969年(昭和44年)に落成し、当時の姿のまま45年以上歩んできました。図書館をはじめ、楽学資料館、音楽研究所など、さまざまな機能を持つ4号館。建物の構造も複雑です。そのため、工事の期間は2年間を予定しています。今後、設計会社も含めての検討を行い、準備が進められていくこととなります。なお、工事は開館しながら実施される予定ですのでご安心を!

図書館はどのように変わのでしょうか。楽しみですね。

図書館の耐震工事については、今後もばらんどでお知らせをしていきます。

主任司書 柄田明美